

SGカルチャー（京都研修旅行）を実施しました。

SGカルチャー

平成30年6月30日（土）、7月1日（日）

《目的》

日本の貴重な文化財を現地で直接見聞することにより、文化財に対する興味・関心を喚起し、**日本の歴史と文化**に対する正しい認識を得る。また、課題研究テーマの理解につなげる。

《内容》

京都・宇治の文化遺産「平等院鳳凰堂・六波羅蜜寺・京都文化博物館・三十三間堂・天龍寺・龍安寺」を見学しました。京都文化博物館では、「**博物館の仕事と役割**」についてお話をいただきました。



[参加生徒の感想]

日本人の心の神や信仰に対する寛容さや多様性は、仏教の多神多宗教を受け入れる心に由来するのと感じました。経済が安定せず、生活が苦しかった当時の人なら、より壮大な景色として仏像が見えていたと思います。そこに引きつけられる気持ちも分かる気がしました。

いくつかの庭園を見て回り、それぞれの寺ごとにモチーフがあり全然違うことに気づきました。今までは庭園をみても「きれい」くらいにしかなかったが、比較して観ることにより趣を感じました。

京都の歴史や文化に触れ、新しい経験をすることができました。また、自然の美しさに気づくことができました。今回の研修で学んだことを、日本史の学習や日々の生活に生かしていきたいです。